

企画展

砂丘に眠る 弥生人

SKELETONS IN THE SAND DUNES

— 山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀 —

— The Yayoi people uncovered in half a century of excavations at the Doigahama Site, Yamaguchi Prefecture —



土井ヶ浜遺跡 124号人骨



土井ヶ浜遺跡第4次調査

2018年 12/11 (火) ~ 2019年 3/24 (日)

国立科学博物館 (東京・上野公園)
日本館1階企画展示室

開館時間 / 午前9時～午後5時(金曜・土曜日は午後8時まで)
※入館は各閉館時刻の30分前まで

休館日 / 毎週月曜日(ただし、12月24日、1月14日、2月11日、2月25日は開館)
12月28日(金)～1月1日(火)、1月15日(火)、2月12日(火)

入館料 / 一般・大学生620円(団体500円)
高校生以下および65歳以上無料 ※常設展示入館料のみでご覧いただけます。

主催 / 国立科学博物館
協力 / 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、九州大学総合研究博物館

企画展

砂丘に眠る SKELETONS IN THE SAND DUNES 弥生人

— 山口県土井ヶ浜遺跡の半世紀 —

土井ヶ浜遺跡は山口県下関市にある砂丘上に造られた弥生時代の集団墓地です。この遺跡から数多くの弥生時代の人骨が出土し、その発見は日本人のルーツを探る上で重要な情報をもたらしてくれました。今回の企画展では、日本人の形成史を解明する上で重要な資料となった土井ヶ浜遺跡の人骨資料をはじめ、西日本と東日本の弥生時代遺跡から出土した人骨資料を展示し、弥生時代人骨をめぐる研究の歴史や最新の研究成果を紹介します。

日本人の起源論争と弥生時代人骨

明治時代以降、日本人の起源論争が本格化します。次々と古い時代の人骨が発見されるなか、弥生時代の人骨は発見されませんでした。そうしたなか、九州大学の人類学者金関丈夫のもとに、弥生時代の人骨が出土したとの朗報がもたらされます。



金関丈夫

弥生時代人骨の発見

土井ヶ浜遺跡から弥生時代の人骨が発見され、その情報を得た金関丈夫は5回にわたる発掘調査を指揮し、約200体にのぼる弥生時代人骨が発見されました。金関はそれらの資料をもとに「渡来・混血説」を提唱します。



土井ヶ浜遺跡



多数の石鏃が打ち込まれた土井ヶ浜124号人骨
※矢を打ち込まれた個体(レプリカ)

弥生人の誕生と広がり

土井ヶ浜遺跡の発掘以降、各地で弥生時代人骨が発見されます。それにより、弥生時代の人びとの形質には地域的な違いがあるなど、少しずつその姿が明らかになってきました。その一方で、弥生人の誕生について新たな謎も生まれました。



弥生時代人骨

弥生時代人骨の受傷痕

弥生時代人骨には鋭い武器で傷つけられた痕跡が数多く見つかっています。これらは弥生人が生きていた社会を理解する手がかりとなります。

弥生人をめぐる最新研究

各地の弥生時代人骨のDNA分析が進んだことで、弥生時代には列島のなかにさまざまな遺伝的な特徴をもつ弥生人がいたことが分かってきました。



ゲノムが解析された弥生時代人骨
(福岡県 安徳台遺跡、那珂川市教育委員会所蔵)

講演会

【会場】日本館 2階講堂 【時間】14:00~15:30

- 第1回 12月24日(月・祝) 「形態とDNA」
- 第2回 1月20日(日) 「弥生時代と土井ヶ浜遺跡」

定員
100名
(事前申込制)

【交通ガイド】

- ◆ JR 「上野駅」公園口から徒歩5分
- ◆ 東京メトロ 銀座線・日比谷線 「上野駅」から徒歩10分
- ◆ 京成電鉄 「京成上野駅」から徒歩10分

※当館には駐車場および駐輪場はございません



会期中、ギャラリートークも開催します。
詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.kahaku.go.jp/>

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science